

TDU *Agora*

特集

令和4年度 大学院・大学入学式を挙行	1
東京電機大学 B-project の足跡	2

CONTENTS

今月の顔 五十嵐洋 教授(工学部 電子システム工学科)	3	News	6
キラリ★電大生 TDUスペースプロジェクト	4	Information	7
キャンパスよもやま情報	5		



特集

令和4年度 大学院・大学入学式を挙行

4月2日、日本武道館にて、「令和4年度東京電機大学大学院・東京電機大学入学式」を挙行しました。学部2,221名、大学院493名の新入生が入学しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止策として、学生1名につき、ご家族等の付添者1名のみの上場可能とし、式典の様相をインターネットでライブ配信しました。

式典では、射場本忠彦学長より「ぜひとも、与えられた期間を無為に過ごすことの無いように、時間の使い方を上手に、かつ自分の責任で管理し、自信と夢を持って本学での学生生活に挑戦し続けてくださるならば、必ずや高度な技術の専門家、または、優れた研究者に成長されることと、私は確信しております。」と式辞が述べられました。

続いて、石塚昌昭理事長より「自分を磨くのは自分自身です。これからの大学生活では将来のことをじっくり考え、様々なことに挑戦してください。」と祝辞が述べられました。

その後、新入生を代表して未来科学部建築学科の中村里菜さん、工学部機械工学科の渡邊凌成さんが「建学の精神「実学尊重」および教育・研究理念「技術は人なり」のもとに、未来の科学技術を担う者として、学則を守り、学業に励むことはもちろんのこと心身の育成に努めることを決意します。」と宣誓しました。

また、式典終了後には、学生生活や部活動紹介の動画を上映する入学記念イベントが在学生有志により行われました。

未来の科学技術を担う新入生の皆さんの今後の成長が大いに期待されます。



学長式辞



理事長祝辞



新入生宣誓



大学院新入生と指導教員



着席は間隔を空けて



初々しい新入生グループ



東京電機大学 B-projectの足跡

B-projectは、学生生活支援委員会の下に設置された有志学生・教職員によるワーキンググループです。「コロナ禍で停滞してしまった学生団体・一般学生の活気を取り戻す、それ以上の繋がりを見出すプロジェクト」をコンセプトにイベントを手掛けました。

令和2年度オンライン学園祭を成功に導いた2名の学生との話し合いの中で、コロナ禍の停滞感を打破する大学全体のイベントを卒業式・入学式にて挙げる、そのイベントに向けた一連の取り組みをプロジェクト化しようというアイデアが生まれ発足しました。

B-projectの名称は、武道館(Budokan)のイニシャル「B」に由来しています。

B-projectの取り組み

● 新年クラブ勧誘会・交流会～電大生！コロナ遅れを取り戻せ～ 1/17鳩山・1/19千住

対面で実施した本会は、キャンパスを越えた学生間の積極的な交流や、参加学生がその場で学生団体への入部を申し出るなど、多くの学生の笑顔が見られました。(参加者数 685名)

● 令和3年度リーダーズキャンプ 3/1鳩山・3/2千住

学生団体の次期リーダー養成を目的としたリーダーズキャンプは、ハイブリッド形式にて開催。射場本学長の挨拶、広石副学長の講演に続き、グループディスカッション等によるキャンパスを越えた学生の交流が行われ好評を得ました。(参加者数 140名)

● 卒業記念動画 3/18 日本武道館卒業式

教員や学生窓口スタッフ、キャンパス周辺の方々等の協力を得て、卒業生が本学で学んで良かったと思えるような、卒業生の満足度を高めることにフォーカスした動画を制作。撮影・編集を両キャンパスの放送委員会、監修を本学卒業生が担い、手作り感が伝わる動画に。上映後には多くの卒業生から拍手喝采が送られました。

● 入学記念イベント 4/2 日本武道館入学式

在学生のインタビュー動画と電大クイズを織り交ぜた「新入生参加型」のイベントを企画。入学式当日は、2名の学生メンバーがMCを務め、卒業式同様、放送委員会、卒業生が制作を担当。新入生が学生生活に希望を見出せるような演出で、多くの新入生がクイズに参加しました。

本プロジェクトは、広石英記副学長をリーダーとし、五十嵐洋学生支援センター長、両キャンパスの事務部長、学生厚生担当職員、自治会執行委員会、学園祭実行委員会、放送委員会の学生メンバーが短期間で活発な議論を経てプロジェクトを遂行しました。

私のめざす研究室のカタチ

～恩師の教えからたどり着いた「まとまりのない研究室」～



工学部 電子システム工学科
学生支援センター長

五十嵐 洋 教授

2005年 東京電機大学大学院工学研究科
修士(工学)。同年 東京電機大学21
世紀COEプロジェクト 専任助手。
2006年 本学工学部嘱託講師。同助教、
准教授を経て、2018年より現職。



1年生向け研究室見学会

私は学生時代、とても真面目な学生とは言えませんでした。転機が訪れたのは、3年生終わりの研究室配属で、恩師である故柿倉正義先生との出会いでした。もともと漠然とロボットに興味を持っていましたが、ちょうど配線前のロボットが新たに導入されたタイミングでの入室でした。その後は、ただそのロボットを動かしたい一心で、苦手だった数学や制御、プログラミングを夢中で勉強しました。不思議とそのときの勉強は、苦にはなりませんでした。

柿倉先生は、研究に対して放任主義の方で、私がやりたいよう研究をさせてくれました。同時に「やるか、やらないかは自分次第」という一見、緩そうにみえて、とても厳しい方針でした。私の研究モチベーションは、ただただ面白いから、ということにつきます。大学院生時代は、研究の面白さと苦しさの両方を存分に経験する非常に濃い時間を過ごすことができました。その体験が、私の研究者としての礎となっています。

時は流れ、私も研究室を持つようになりました。私の主宰する「協調ロボティクス研究室」の運営方針の根底には柿倉先生の教えがあります。「研究は、やら

されるモノではなく、自らやるモノである」。最も大切なことは、学生自身が自分の研究だという意識をもって、自主的に研究に取り組むことと考えます。そのため、研究テーマは、学生自身の興味や提案に応じて設定するというポリシーを貫いています。その学生自身が生み出した「興味の種」を、世界に通用する研究となるよう、研究室メンバー全員で議論を重ねながら、育てていくスタイルです。

学生の興味を拾い上げながら研究テーマを作っているので、研究テーマの分野も拡がり続けています。他の研究者からは、「君の研究分野は手広すぎて専門が何かわからない」と褒められます(笑)。本研究室の学生が得意とする分野は、回路設計・ソフトウェアの技術面に加え、制御理論、人工知能、認知科学、生理学などの学問分野まで多岐にわたります。毎週のゼミでは、多様な視点の意見が飛び交い、私自身がとても勉強になっています。一見、テーマにまとまりのない研究室にみえますが、この多様性こそが本研究室の最大の強みだと確信しています。今も、学生時代とはまた一味違う、研究の面白さに夢中です。



コロナ前の研究室歓迎会で(後列左から3人目が筆者)



ACTSに参加したメンバー(右から2人目が筆者)



ACTS 参戦機体

TDUスペースプロジェクト

模擬惑星探査機 (CanSat)を開発

～種子島ロケットコンテスト、朝霧CanSat投下試験で入賞～

林 寛盛さん(理工学部 電子工学系 2年)

私たち TDU スペースプロジェクトは、模擬惑星探査機 (CanSat) の開発を通じて経験を積み、即戦力として社会に貢献できるエンジニアを目指して活動中です。アメリカブラックロック砂漠にてロケットで機体を打ち上げて投下する国際大会 ARLISS (アーリス:A Rocket Launch for International Student Satellites) と、気球で機体を投下する種子島ロケットコンテストに出場し、優勝を目指しています。大会では機体投下後に事前に設定されたゴール地点へ向かい、到達距離を競います。ミッションの独自性や難易度、新規性も評価されます。

2021年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で ARLISS が開催中止となり、代替として11月に静岡の朝霧高原にて開催された ACTS (朝霧 CanSat 投下試験) と、オンライン開催の種子島ロケットコンテストに出場しました。2つのイベントとも最速で

ゴール地点へ向かうことをミッションとして、ゴール途中の凹凸に引っかからないための四輪駆動と着陸時の衝撃を受け止めるためのカーボン複合材を全面的に用いて、見た人が驚くような機体で出場しました。

ACTS ではイベント最速でゴールを果たし、ゴール地点の到達距離を競うカムバックアワードで2位、前述したミッション内容も評価されミッションアワードで3位、総合評価3位を獲得しました。

種子島ロケットコンテストでは大会当日のプレゼンテーションと機体の外観図やシステム図が含まれる設計計画書で評価が行われました。自動制御カムバック種目にて26チーム中5位を獲得しました。

2021年度は表彰を多くいただきましたが、2022年度こそは優勝を目指します。応援をよろしく願います。



種子島ロケットコンテストにてプレゼン



ACTSゴール直後

キャンパスよもやま情報

埼玉鳩山キャンパス

2021年度リーダーズキャンプ



3月1日に埼玉鳩山キャンパスにて、2021年度リーダーズキャンプを実施しました。当日は両キャンパスの学生団体のリーダーが、学生団体の活気を取り戻す施策等について、Zoomも駆使しながら、ディスカッションや発表を行いました。

参加者が話し合う姿は真剣そのもので、次期リーダーとしての活躍を期待させました。

※写真は撮影時のみマスクを外しています

(理工学部事務部 高山)

東京小金井キャンパス

中学校・高等学校入学式



中学校・高等学校では4月7日に本校体育館にて、高等学校は午前10時から、中学校は午後1時から入学式を挙行了しました。中・高合同で行うことが通例でしたが、昨年度に続き密を避けるために2回に分けての実施となりました。参列されるご家族は1名までに限定し、来賓も最小限でしたが、今年是在校生代表からの歓迎の言葉を加えることができました。枝に残った桜の花が新入生を迎えた、生徒・保護者合わせて816名の入学式でした。(中学校・高等学校事務室 松本)

校友会だより

大学院学位記ファイル

毎年校友会では、卒業生に学位記を納めるファイルを記念品として贈っています。

大学院の学位記は、現在の規格に無いサイズと二つ折りできない様式という理由から、今まで記念品として学位記ファイルを用意することができず、丸筒をお贈りしてきました。令和3年度から大学院学位記が二つ折りできる様式へ変更され、校友会もその学位記を納められる特別サイズのファイルを記念品として用意しました。

これにより、令和3年度の修了式・卒業式から中学校、高等学校、大学、大学院のすべての卒業生に学位記ファイルを贈ることができるようになりました。



募金事業室

学校法人東京電機大学サポート募金 ～遺贈寄付のご案内～

近年、将来遺されるご自身の財産を寄付することにより、社会に貢献することができないかとお考えになる方が増えてきています。このようにお考えの方のために「学校法人東京電機大学サポート募金」への「遺贈」につきましてご紹介させていただきます。「遺贈」とは、遺言書を作成し、ご自身の財産の一部またはすべてを特定の人や団体に譲与することをいいます。

本学園は、1907(明治40)年の創立以来、社会に貢献できる多くの人材を輩出してまいりました。同時に多くの皆さまからのご寄付により支えられてまいりました。本学園の教育・研究活動の発展のため、学生・生徒の輝く未来のため、ぜひ、本学園へのご支援をご検討ください。

問合せ:募金事業室 TEL.03-5284-5143

詳しい情報はこちらから▶



ピックアップ! 出版局



★出版局より、新刊の紹介や話題の本、イベントなどのホットな情報を掲載！

2022年3月の新刊は、専門書から学内専用書籍、資格試験書など幅広く刊行！



ATP-EMTPによる開閉現象過渡解析

腰塚正 著 A5判・458頁 8,800円

電力系統で用いられる遮断器、断路器等の開閉に伴う過渡現象を扱う。研究者や、鉄道・電機関連の技術者の活用が期待できる。(著者:本学工学部教授)



大学生活を始めるときに読む本 2022 一東京電機大学 新入生ガイドブック

東京電機大学 編 A5判・136頁 2,530円

東京電機大学の新入生へ向け、大学とはどんなところかを解説し、安心して自信を持って大学生活に取り組めるようサポートする。※本学専用図書



〈サイエンス探究シリーズ〉偉人たちの挑戦(2) 物理学編I

東京電機大学 編 A5判・256頁 3,080円

科学における偉人の業績と生涯を分野別に紹介するシリーズの第2巻。会話調の平易な語りと多数のイラストで興味関心を深められる。



コミュニケーションリテラシーの教科書 一カウンセリングスキルを使ったエクササイズ

実践教育訓練学会 監修/水野修次郎 他著 B5判・160頁 2,420円

対人トラブルに際してコミュニケーションによって合意形成ができるスキルの育成を目的として解説。別冊ワークシート付き。

＜電験三種 集中ゼミシリーズ＞

多くの合格者を輩出してきた執筆陣による「教科書+問題集」のハイブリッド型テキスト。解答を導き出すテクニックも掲載。



●電験三種 理論 集中ゼミ

吉川忠久 著 B5判・242頁 2,970円

●電験三種 電力 集中ゼミ

石原 昭 監修/南野尚紀 著 B5判・208頁 2,860円

●電験三種 法規 集中ゼミ

石原 昭 監修/南野尚紀 著 B5判・292頁 3,190円

★出版局ではメールマガジンを配信しております。
ご希望の方は、下記URLよりご登録ください！

<https://web.tdupress.jp/mailmagazine/>



新しい時代を拓いた科学・技術 vol.52

アラン・カーティス・ケイ アメリカ合衆国 ●1940年～

パソコンの父—パーソナルコンピュータを創出

「未来を予測する最善の方法は、それを発明することだ」

プログラミング言語、ユーザーインターフェースも開発

1960年代のコンピュータは、一部屋を占拠するほど巨大で、非常に高価。複数の人で1台を共有し、人間が機械に仕えるような状態でした。しかしケイは、コンピュータが人を支援すべきと考え、「コンピュータの部品は、すべてディスプレイのサイズに収まり、1000ドルで買える。それは人間の知的活動を支援するパーソナルなメディア」であるべきとのビジョンをもちました。そしてできあがったのは、記憶装置本体、ディスプレイ、キーボード、通信機能を備え、マウスで画面上に指示するマシン「アルト」。1973年に最初の1台が完成し、1970年代終わりには多くの研究機関で使用されました。「アルト」に衝撃を受けたスティーブ・ジョブズは「リサ」そして「マッキントッシュ」を開発。「パソコン」時代が始まりました。



©TDU

ケイは、知的活動を支援する道具は「ダイナミックな本」と提唱し、究極のコンピュータとして「ダイナブック」と命名しました。ケイはオブジェクト指向プログラミング言語「スモルトーク」を開発、またコンピュータの「メタメディア」概念を提唱。コンピュータの使いやすさを決定するユーザーインターフェースの設計でも、功績をあげました。

今月の俳句

教職員親睦会「千住俳句会」

初雪や胸白くまで深呼吸
節料理丹波黑豆艶深し
亀鳴くや読まず仕舞のプ
ルースト

七美男(松田七美男)
明(井川明)
廼子(大園成夫)

Information

OPEN CAMPUS 2022

事前登録制

電大のリアルを体感する！学科・学系の違いがハッキリわかる！

オープンキャンパス日程決定！！

2022年度オープンキャンパスの日程が決定しました。

キャンパス内における密を防ぎ、安心してご来場いただくため、事前登録制とします。

ご来場をお待ちしています！

東京千住キャンパス

- システムデザイン工学部
- 未来科学部
- 工学部
- 工学部第二部

6/19(日) 7/30(土) 7/31(日)

- 開催時間 10:00～16:00

大学入学後の学びや学生生活が分かるように工夫をしています！学科ごとに展示教室を設けたり、普段見ることのできない研究室を公開予定です。ネットで検索しても分からないことを知るために、ぜひご来場ください！多くの先輩学生や教授が皆さんの質問や疑問にお答えします！**東京千住キャンパスは北千住駅から徒歩1分！**



埼玉鳩山キャンパス

- 理工学部

6/11(土) 6/12(日) 7/23(土) 7/24(日)

- 開催時間 10:00～16:00

埼玉鳩山キャンパスにある理工学部は6学系あり、各学系は専門力を身につけるカリキュラムを用意しています。教育・研究内容だけでなく学生生活も在校生スタッフから聞くことができます。ネットで検索しても分からないことを知るために、ぜひご来場ください！**埼玉鳩山キャンパスへは車での来場も可能です！**



詳しい情報はこちらから▶



編集後記

今年度は対面形式での授業の実施が基本となり、4月のキャンパスは学生達で賑わいました。約2年ぶりの光景に戸惑いながらも、あっという間にゴールデンウィークです。新しい生活に疲れがたまっている方も多いのではないのでしょうか。連休中はゆっくり休んでリフレッシュしましょう。

TDU

学校法人東京電機大学 (総務部企画広報担当)

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

TEL. 03-5284-5125 FAX. 03-5284-5180

E-mail: soumu-kikaku@jim.dendai.ac.jp

https://www.dendai.ac.jp/



この印刷は環境保護の為、印刷に伴う廃液を排出しないシステムで印刷されています。